

# ＝ 普 及 情 報 ＝

No. 34

平成30年3月12日

東部農林振興センター出雲事務所農業普及部

標題

出雲圏域における地域プロジェクト合同会議を開催！

～プラン後半に向けて、出雲農業への思いを語る！～

(ダイジェスト)

3月7日、JAしまね出雲地区本部において、出雲圏域で取り組んでいる5つの地域プロジェクト（以下、「PJ」とする）の合同会議を開催し、「プラン後半に向けて、出雲農業への思いを語る」の副題のもと、お互いにこれまでの成果や今後に向けた意見等を出し合いました。そして、後半2年間に向けてさらに連携し、課題解決に取り組んでいくことを確認しました。

昨年度から出雲圏域では農業・農村の維持発展のために5つの地域PJを立ち上げ、関係機関が一体となって計画的かつ組織横断的に取り組んできています。

これまで2年間、年3回（5月・9月・3月）のペースで合同会議を開催し、半年ごとに課題を整理し、活動内容を確認してきましたが、この度4年間の折り返し地点を迎えることから、本年度の状況はもとより過去2年間の取り組みを踏まえた合同会議を開催しました。

出雲市の池田農林水産部長の挨拶で始まり、その後PJごとにリーダーが主な活動内容や成果・課題を報告し、抱えている課題等を提起しながら、意見交換を行いました。

【主な内容】 ○：成果 ●：課題・意見

- ① 多様な担い手PJ
  - 中心的経営体の前身となる防除班（スプレー）が発足
  - 認定農業者へのフォロー体制の検討
- ② 畜産再興PJ
  - 本年度はお試し放牧が1件、来年度は1件が本格実施
  - WCSの品質向上に向けた技術的対応
- ③ 果樹再生PJ
  - 優良系統デラウェアへの改植拡大、出雲ぶどう部会もプランづくりがスタート
  - 外国人労働力の有効活用
- ④ 野菜・花き再生PJ
  - 産地概要（10品目）の作成、美味しまね認証取得に向けた取り組み加速
  - 各生産部会へビジョンづくりの誘導、集落営農組織への園芸作物の導入推進
- ⑤ 水田農業PJ
  - 冊子「出雲水田農業モデル」の完成、畦畔除草技術の検討・定着
  - ICT活用による低コスト化技術の推進

時間の制約もあり、十分に思いが語り合えたかどうかは分かりませんが、出された意見等を各PJチームで議論し、具体的で実効性のある活動にしていかなければなりません。

農業普及部ではPJごとにチームを編成しており、そこで部としての考えを検討・整理し、当該PJに具体策を提案していくことにしています。

